

## グローバルインターンシッププログラム

### 大学院生が挑む海外での武者修行～5人を派遣

広島大学では、国際的に活躍できる実践的研究者と高度専門職業人の育成を目指し、主にアジア、アフリカ地域でのインターンシップを核とする大学院教育プログラム（G.ecboプログラム）を実施しています。

平成19年度からの3年間で約90人の大学院生が参加し、今年度夏期派遣では17人がUNDP（国連開発計画）、西川ゴム、メコン大学などにおいて平和構築、企業経営、日本語教育などに携わりました。また1月末から冬期派遣として、5人をガーナ（M1人）、フィリピン（M2人）、マレーシア（D1人）、ケニア（M1人）へと送り出しています。

最近学生の内向き指向が指摘されていますが、異国での困難に果敢に挑戦した彼らの表情には経験に裏打ちされた逞しさを感じ、就職戦線でも注目を浴びています。

海外での現場体験を経験し、世界中の国や地域で研究者および高度専門職人として第一線をリードできる人材となるように期待しています。

#### 【G.ecboプログラム（グローバルインターンシッププログラム）】

環境、平和、貧困などの問題に対して国や地域の境界を越えた対応が求められている今日では、専門分野を問わず、国際的視野のもとにコミュニケーション力、問題解決力、倫理観などを持ち合わせた人材の育成が求められています。

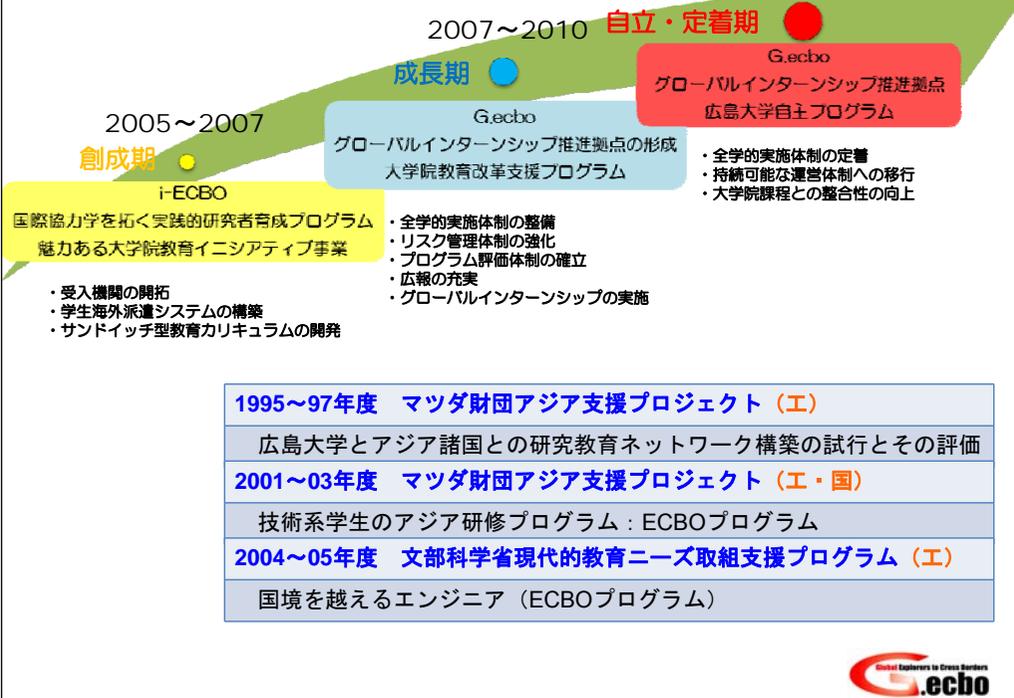
G.ecboプログラムは、海外を中心とするインターンシップを核とした教育プログラムです。博士課程前期及び後期の学生を1～6カ月間主に途上国へ派遣し、予め計画した研修・研究テーマのもとにインターンシップを行います。

平成22年度よりグローバルインターンシップ推進拠点（G.ecboプログラム拠点）を国際センターのもとに設置し、既存の学問領域に縛られない多様な分野の課題、新しい課題に適応できる研究者の輩出、国際協力・国際援助の第一線をリードする実務者の養成と世界中から集まる留学生や研修生の高度専門職業人としての育成を目指します。

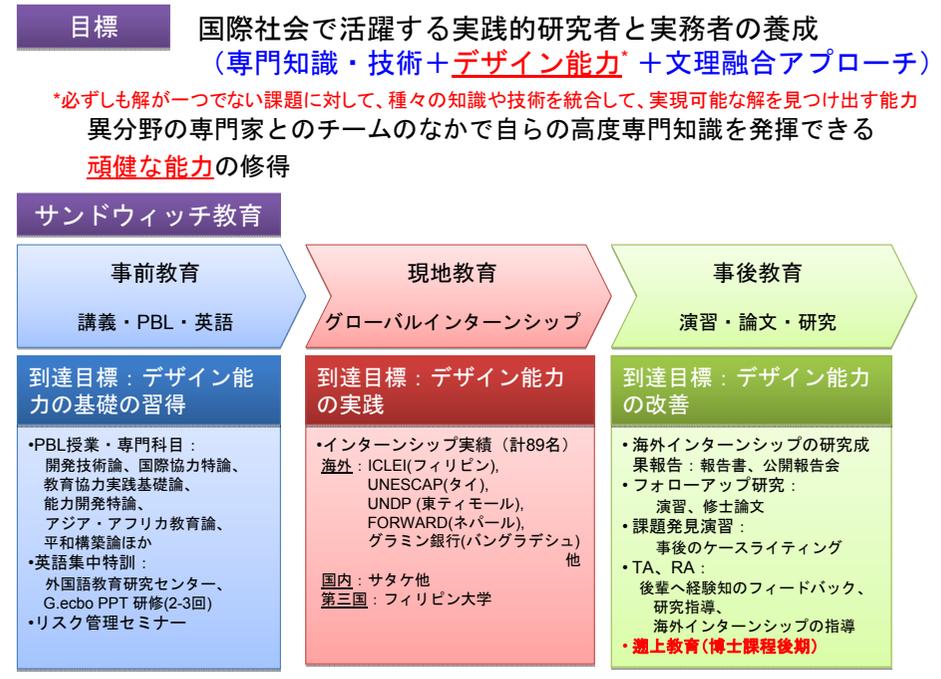
#### 【お問い合わせ先】

国際センター  
グローバルインターンシップ推進室  
中村、佐々木、片桐  
TEL・FAX:082-424-6950

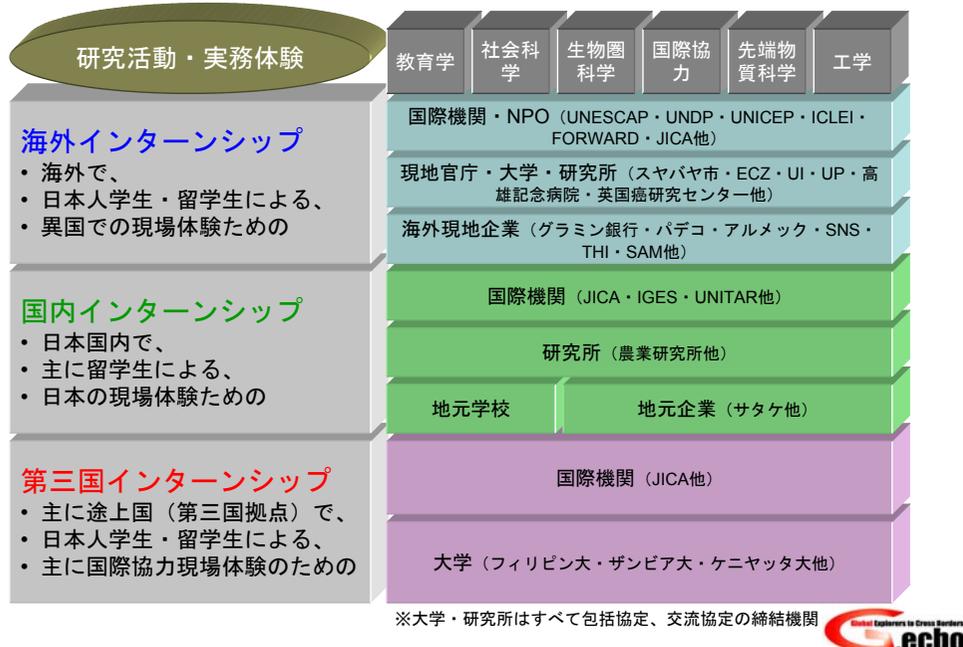
# 1. プログラムの歴史



# 2. G.ecboプログラムの目標と教育方法

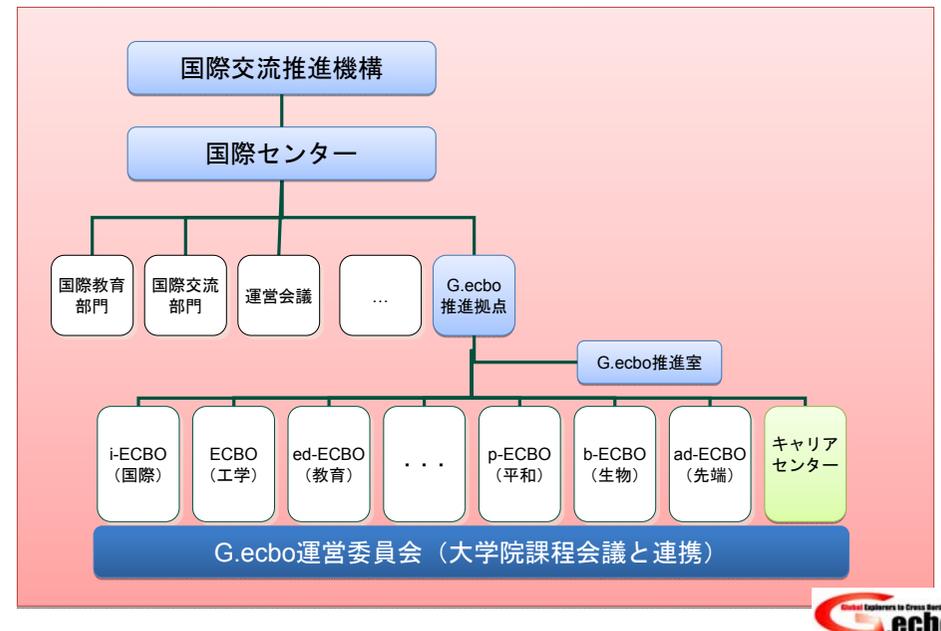


# 3. グローバルインターンシップとは



# 4. プログラムの実施・運営体制

## 大学院教育改革GP終了後の全学運営体制



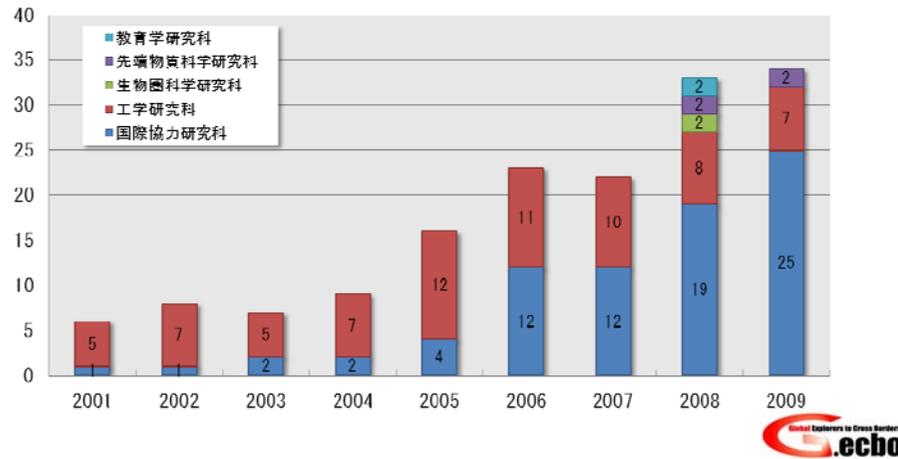
# 5. G.ecboプログラムのこれまでの実績

## (1) 派遣実績 (研究科別)

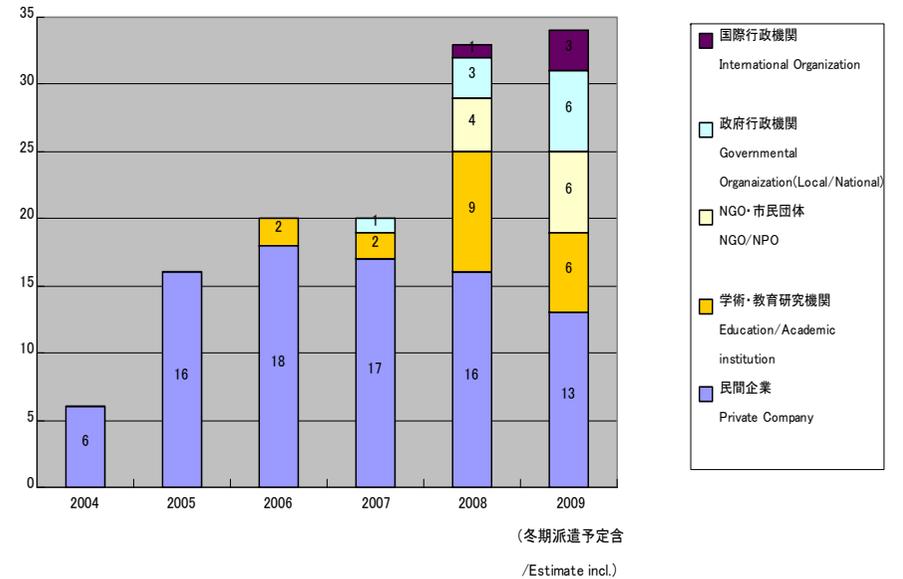
2009年度：合計 34名

(研究科別) (課程別)  
 先端研 2名 博士課程後期 7名  
 工学研 7名 博士課程前期 27名  
 国際研 25名

プログラム支援期間3年間  
 (2007~09年度)で、89名の  
 大学院生がG.ecbo教育プログラムを修得



## (2) 派遣実績 (受入機関種別)

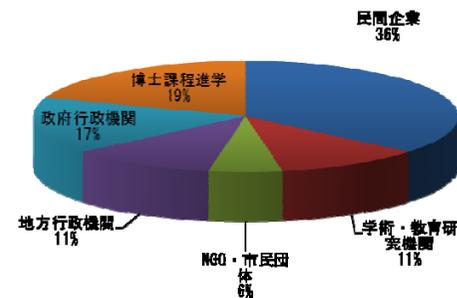


## (3) 国別派遣実績例



	研修先	研修国
海外	(株)アルメック	ベトナム
	(株)パデコ	バングラデシュ、カンボジア、ガーナ
	佐竹機械有限公司	中国
	西川ゴム工業(株)	中国
	国連組織(UNESCO, UNDP, UNICEF)	東チモール、タイ
	グラミン銀行	バングラデシュ
	IGLEI(国際NGO)	フィリピン
	FORWARD(現地NGO)	ネパール
	沖縄平和協力センター	沖縄、東チモール
	メコン大学ビジネス日本語学科	カンボジア
	JICA事務所	ガーナ、マラウイ、セネガル、インドネシア
	英国癌研究所	イギリス
	高雄Chang Gung記念病院	台湾
	国内	(株)サタケ
第三国	フィリピン大学理数科教師訓練センター	フィリピン
	ケニヤッタ大学	ケニア

## (4) プログラム修了生の進路



### 就職先とインターンシップ

2008年夏期  
 (株)アルメック (ベトナム) にて1ヶ月  
 → 開発コンサルタント企業へ就職

2008年夏期  
 JICAガーナ事務所にて数ヶ月  
 → 特定非営利活動法人へ就職

2008年冬期  
 JICAインドネシア・マッカサル事務所にて1ヶ月  
 → 気象庁へ就職

## 受入側(企業等)と 派遣側(大学側)との ニーズのマッチング



### 広島大学

- 学生の自由な発想
- 長期的萌芽研究
- 個人研究
- 手法志向型研究テーマ
- 自由研究

研究テーマ  
研修計画書

政策提案書  
共同研究

#### 1. 海外インターンシップ

- テーマ例
- ・農業灌漑用水の水利権の管理方法
  - ・環境効率を考慮した都市総合計画立案

#### 2. 国内インターンシップ

- テーマ例
- ・日本のバブル崩壊後の経済再建活動

#### 3. 第三国インターンシップ

- テーマ例
- ・現職理数科教師訓練事業の比較研究

#### 4. 選上教育型インターンシップ

- テーマ例
- ・ザンビアにおける数学の授業開発に関する研究

国際機関職員、  
教員、  
海外進出企業の  
現地責任者

### 現地機関

- 専門家の手順
- 短期的課題研究
- チーム内分担研究
- 政策志向型研究テーマ
- 業務補助

専門分野  
業務内容

受入能力  
実施可能性

## 派遣学生の選考の手順



### 応募資格

- ◎広島大学大学院に在籍のこと
- ◎国際社会が抱える課題に強い関心を持っていること
- ◎人格に優れ、心身ともに健全であること
- ◎プログラム受講に必要な程度の外国語能力を有すること

### 選考方法

書類・面接による審査を行い、合格者には渡航費および生活費の一部を補助します。

## 学生、派遣先、教員の声

### 派遣先の声

通常インターンシップでは、専門分野において成果を挙げることに重きが置かれているようであるが、広島大学では研修内容に対してフレキシビリティが与えられており、学生も自分たちの視点で取り組もうという意欲が感じられた。これは大事な点で受け入れ側も学ぶべき点である。

### 学生の声

インタビュー調査では、受け入れ機関の現地職員や現地大学生に協力していただきました。市民や観光客と触れ合う中で実際に生活している状況、環境を知ることができました。一方、英語力の無さ、意思疎通の難しさも実感し、自分のコミュニケーション能力の不足さを痛感しました。

### 教員の声

学生には活発にプログラムを活用していただきたいです。意欲・目的意識を持って、漫然とではなくやって欲しいですし、意見や批判もして欲しいです。教員としても、派遣先や学生の声を聞いて、ますますブラッシュアップし、よりよいプログラムを作りたいと考えています。

Global Internships

## グローバルインターンシップ 推進拠点の形成



10年後の自分を探そう  
世界と出会うインターンシップ





# グローバル インターンシップとは？

## グローバルインターンシップ推進拠点の形成

平成19-21年度大学院教育改革支援プログラム「グローバルインターンシップ推進拠点の形成(G.ecbo)」は、本学国際協力研究科(IDEC)が平成17-18年度魅力ある大学院教育イニシアティブの採択を受けた特別教育プログラム(通称i-ECBO)に端を発しています。このi-ECBOは、IDEC在籍の博士課程前・後期の学生を対象に1~6ヶ月間開発途上国にある国際開発組織に派遣し、各自の専門や関心に関連した研修・研究を行う海外インターンシッププログラムです。現地での活動の前後に特色ある講義や演習を組み込んだ実践的教育プログラムを通じ、国際協力学の発展に寄与し得る人材の育成を標榜しています。このプログラムのもと、19年度までに7ヶ国21名の学生が派遣されました。

今般採択されたG.ecboプログラムでは、これまでの活動を発展させ、既存の学問領域に縛られない多様な分野の課題、新しい課題に適應できる研究者の輩出、国際社会の第一線で活躍できる実践家の養成と、世界中から集まる留学生や研修生の高度専門職業人としての育成を目指します。そのため、平成19年度からの3年間で戦略的活動実施拠点を整備し、

- (1)日本人学生又は留学生を海外の企業や各種機関に派遣する海外インターンシップ、
  - (2)主に留学生を日本国内の企業や各種機関に派遣する国内インターンシップ、
  - (3)日本の協力後当該域内の研修拠点となった機関へ派遣する第三国インターンシップ、
- からなる「グローバルインターンシップ」を本学大学院全体へと拡大して実施します。

また、本学大学院課程会議と連携をとりつつ、

- 1)複数の研究科が共有する学習教育目標の設定と教育方法、継続的改善方法の確立
  - 2)新しい研究テーマを創造する博士課程後期教育とグローバルインターンシップを体験する博士課程前期教育の有機的な連携方法の確立
  - 3)大学が創造する研究テーマと社会が必要とする研修課題のマッチング方法の確立
- を目標とした全学的大学院教育の枠組みの提供も目指しています。



Global Internship  
All year internship  
全学拠点  
企画・運営・危機管理



### 海外インターンシップ

海外で、日本人学生・留学生による、現場体験のための



### 国内インターンシップ

日本国内で、日本人学生・留学生による、現場体験のための



### 第三国インターンシップ

途上国(第三国拠点)で、日本人学生・留学生による、国際協力の現場体験のための



## 事前研修・インターンシップ・事後研究

### サンドイッチ教育 + フォローアップ教育



PBL=Problem-Based Learning 問題解決型学習



## 2007-2008年度 実績例

## \* 遡上教育型インターンシップの実施

G.ecboプログラムフォローアップ教育の拡充を図るために2008年度より遡上教育プログラムを実施することになりました。遡上教育プログラムはインターンシップ等海外研修の経験者(博士課程後期学生)を再度研修地域・機関等へ派遣し、それぞれの実践的研究の高度化をはかることを目的としています。プログラム参加者が博士課程前期課程のインターンシップで得られた知見を後期課程の遡上教育プログラムでさらに深化できるなど高い教育効果が見込まれています。博士論文や論文執筆に繋がる調査研究活動推進の「研究プロポーザル型」とインターン実施機関・地域への追加調査やインターン生の指導・助言を含む「フォローアップ型」を実施します。

## リスク管理対策

1. リスク管理セミナー  
インターン学生派遣前に、リスク管理セミナーを開催し、渡航先での危険回避・安全維持のための勉強会を実施します。
2. 海外旅行保険加入の徹底  
不測の事態に備え、インターン学生には海外旅行保険加入を義務づけています。
3. 旅行事故対策費用保険契約  
広島大学では、海外に派遣する学生を対象に、不測の事態に大学職員を現地派遣するための体制を整えています。

	研修先	研修内容	研修国/地域
海外	(株)アルメック	JICA請負事業(都市計画)	ベトナム/ハノイ他
	UNESCAP(国連アジア太平洋経済社会機構)	環境と開発、情報通信・宇宙工学他	タイ/バンコク
	Auto Alliance (Thailand) Co., Ltd.	工場内物流の改善	タイ/ラヨン
	Molten Asia Polymer Products Co., Ltd.	部品倉庫、製品倉庫のレイアウトの変更	タイ/シラチャ
	国際NGO:ICLEI	環境プログラム	フィリピン/ディリマン他
	Tsuneishi Heavy Industries (Cebu), Inc.	Outfittingにおける部材管理手法の提案	フィリピン/セブ
	グラミン銀行	マイクロクレジット、教育、エネルギー	バングラデシュ/ダッカ他
	NITTO DENKO MATERIALS(M) SDN. BHD.	半導体封止材料の開発および基礎的特性の評価	マレーシア/シャラム
	佐竹機械(蘇州)有限公司	農業・精密機器販売に関わる業務研修	中国/蘇州
	JICA事務所	国際協力事業	ガーナ/アクラ
国内	(株)サタケ	農業・精密機器販売に関わる業務研修	東広島市
第三国	フィリピン大学理科教師訓練センター(UP-NISMED)	中等理科教育補助(化学、物理、生物、数学)	フィリピン/ディリマン